

手順：

Fiery Image Enhance
Visual Editor を使用して写
真の画質を補正する



手順：Fiery Image Enhance Visual Editor を使用して写真の画質を補正する

機能概要

Fiery® Image Enhance Visual Editor は、作成元アプリケーションでファイルを開くことなく画像のカラーを調整する、簡単でインタラクティブな Fiery Command WorkStation® のプラグインです。この機能は Fiery 外部サーバーでは標準ですが、組み込み型 Fiery サーバーではオプションで、Fiery Graphic Arts Package および Fiery Productivity Package の一部です。視覚的なフィードバックを用いてリアルタイムの画像編集を実現するので、追加の画像編集ソフトウェアが不要になります。

初心者のユーザーは、Image Enhance Visual Editor のプリセットを使用して、エキスパート画像補正を適用したり、補正をファイルのページ範囲に割り当てることもできます。自動補正のデフォルトのプリセットは、画質を分析し、自動的に補正します。この機能は、上級ユーザー向けに色調、カラー、シャープさを調整する手動コントロールを備えています。

ゴール

- 自動調整を適用する
- 肌色および赤目補正にカスタムな変更を適用する

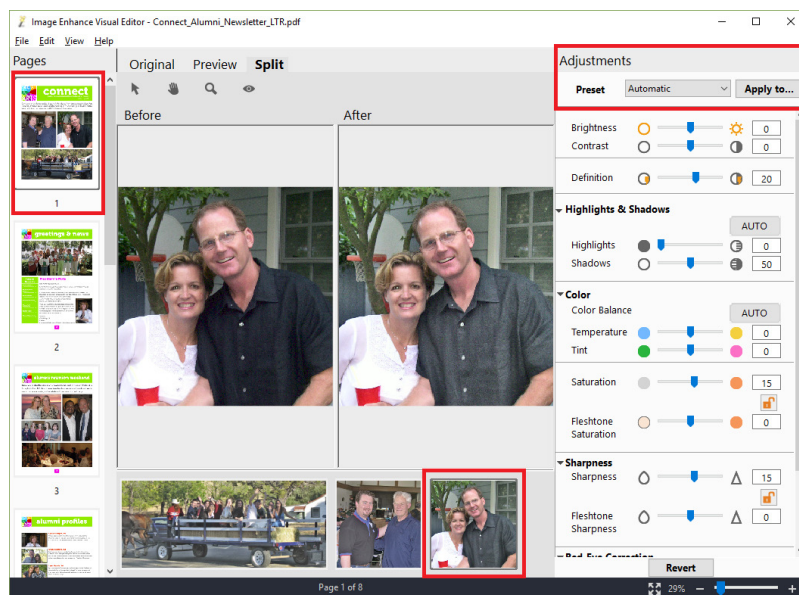
その他のリソース

その他のソフトウェアダウンロードやトレーニングリソースについては、[Fiery オンラインリソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation® 6（またはそれ以降）を起動し、Fiery FS300/FS300 Pro を実行している少なくとも 1 つの Fiery サーバーに接続してください。
- Fiery FS300 サーバーで Fiery Productivity Package をアクティベートします。
- Fiery FS300 Pro サーバーで Graphic Arts Package または Graphic Arts Package, Premium Edition をアクティベートします。
- サンプルファイル
Connect_Alumni_Newsletter_LTR.pdf または **Connect_Alumni_Newsletter_A4.pdf** を Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation 内のインポート メニュー オプションを使用してください。
- キャリブレーションを行うか、Command WorkStation を実行しているコンピューターに適切なモニター プロファイルを適用します。
- 印刷を開始する前に Fiery サーバーとプリンターのキャリブレーションを行ってください。

手順：Fiery Image Enhance Visual Editor を使用して写真の画質を補正する



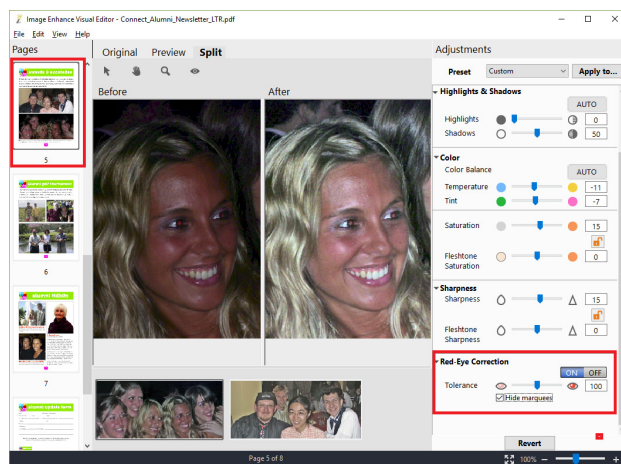
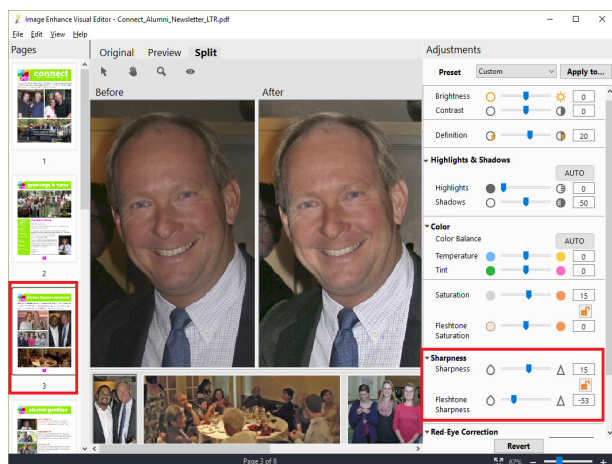
自動調整を適用する

1. Command WorkStation の待機リストで **Connect_Alumni_Newsletter_LTR.pdf** または **Connect_Alumni_Newsletter_A4.pdf** ファイルを選択します。右クリックして「**Image Enhance Visual Editor**」を選択します。
2. 「Image Enhance Visual Editor インターフェイス」ウィンドウが表示されたら、変更とオリジナルを比較するため、「分割」表示タブを選択します。
3. 「調整」ペインで「自動」プリセットを選択します。

「自動」プリセットはドキュメント内のすべての画像を分析し、必要に応じて各画像に補正を適用します。「自動」を設定すると、分割画面インターフェイスの右側に「調整済み」の画像が表示されます。「自動」プリセットは、赤目補正を除く Image Enhance Visual Editor の個別の自動修正をすべてオンにします。

4. 「適用先」をクリックし、自動調整を適用するページを選択します。この例では、「全ページ」を選択し、「OK」をクリックします。「画像が抽出できないためプリセットが適用されないページがあります。続行しますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックして続行します。
5. すべての画像が補正され、プレビュー画像が更新されます。
6. 各種画像を選択して、補正前と補正後と比較して確認することができます。この例では、ページ 1 の 3 番目の画像を選択します。男性のシャツがより細部まで表現されますが、肌の色調は調整されていません。木の葉はより感じが良くなり、背景は明るくなっています。

手順：Fiery Image Enhance Visual Editor を使用して写真の画質を補正する



肌色および赤目補正にカスタムな変更を適用する

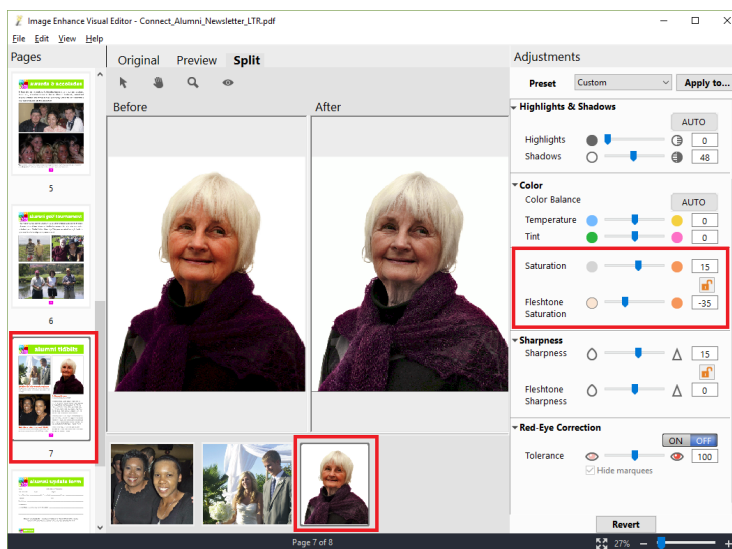
1. 次に、カスタム画像補正を同じドキュメントに適用する方法を学ぶため、「ページ 3」の 2 人の男性の画像を選択します。
2. ズーム ツールとハンド ツールを使用して、調整する画像の位置を決めます。
3. 肌色のシャープさスライダーを左側に動かします。この例では、値を「-53」に設定して、顔のみシャープさを減らします。

肌色のシャープさツールでは、これまでに適用された自動調整に加えて、さらに肌の色調を補正できます。

4. 「ページ 5」の 5 人の少女の 1 枚目の画像を選択します。
5. 「赤目補正」を有効にするには、「オン」をクリックします。
6. ズーム ツールとハンド ツールを使用して、少女の目を中央に表示できるように画像の位置を決めます。
7. 分割画面の画像では、赤目減少が除去されます。

自動的に補正されなかった領域または目が残っている場合は、赤目マーキー ツールを使用して選択します。補正するそれぞれの目の周囲に点線のボックス (マーキー) が配置されます。追加の選択領域をクリックしてドラッグし、赤目補正範囲をさらに特定するか、赤色の宝石など、誤検出された選択範囲の周囲のマーキーを閉じます。選択マーキーを非表示にするには、「マーキーの非表示」ボックスをオンにします。


手順：Fiery Image Enhance Visual Editor を使用して写真の画質を補正する



8. 「ページ 7」の年配の女性の 3 番目の画像を選択します。肌の色調の彩度が高すぎ、正常に見えません。
9. 肌の彩度スライダーを-35 に調整して、より自然に見えるように彩度を低くします。
10. 保存して Image Enhance Visual Editor を終了します。
11. 「ファイル」 > 「保存」をクリックします。
12. Image Enhance Visual Editor を終了するには、「ファイル」 > 「終了」をクリックするか、隅にある赤い X をクリックします。
13. 新しいジョブが待機リストに保存されます。

EFI fuels success.

We develop breakthrough technologies for the manufacturing of signage, packaging, textiles, ceramic tiles, and personalized documents, with a wide range of printers, inks, digital front ends, and a comprehensive business and production workflow suite that transforms and streamlines the entire production process, increasing your competitiveness and boosting productivity. Visit www.efi.com or call 650-357-3500 for more information.



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inkensity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEK, the VUTEK logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries. All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.